

人と人とのつながりがきらりと光る塩田

◎毎年9月1日は“防災の日”

日ごろの備えが命を守る

「想定外」見越して行動を

知って、生かす気象情報

伊勢湾台風で甚大な被害が発生した翌年の1960年に「防災の日」が制定された。わが国は地形、気象などの自然条件から、台風、豪雨、洪水、崖崩れ、地震、津波等による災害が発生しやすい国土とされる。佐賀県を含む九州も例外ではない。これまで何度も台風や洪水の被害を被ってきたほか、記憶に新しい昨年4月の熊本地震、今年7月の九州北部豪雨の災禍は今も癒えておらず、現在進行形で復旧が進んでいる。我が町は平成3年からは幸いに大きな災害に遭遇していません。災害に対する意識が少し薄れてきているのも事実のようです。従来の予測や基準を超えた「想定外」の災害はいつ、どこで襲いかかってくるか分からない。日頃の備えをおろそかにすることなく、自ら「命を守る」意識を高めることが大切だ。(佐賀新聞より転載)

田んぼは、お米を生産するだけではなく

豪雨などの自然災害からあなたの暮らしを守っています。

水田には、さまざまな役割（多面的機能）があります。

- 【洪水を防ぐ】 雨水を一時的に貯留し、少しづつ下流に流すことにより洪水の発生を防止・軽減する働きがあります。
- 【土砂崩れを防ぐ】 棚田は斜面の崩壊を防ぎ、地滑りなどの災害を防止します。
- 【土の流失を防ぐ】 水田に張られた水は、雨や風から土壌を守り、浸食を防ぎます。
- 【川の流れを安定させる】 水田に利用される水や雨水は時間をかけて河川に還元されることにより、河川の流れを安定させる働きがあります。



塩田夏祭りは、天気にも恵まれ、賑わいました。総踊り後の花火打ち上げも塩田の風物詩として定着しています。それにしても、出店が多かった事!!。環境整備部会では、翌17日 朝6時から市役所・学校と合同で会場周辺の花火後の清掃活動をしました。



### 不法投棄禁止立て札点検



不法投棄が依然として減りません。最近目立つのは、県道のゴミです。今年3月に設置した宮型の立て札の効果はいかに? ゴミは持ち帰り、焼却はせず、ゴミ収集日に出しましょう。そして、ついでに「ペット」の糞尿はルールを守り、綺麗な地域づくりに



ご協力をお願いします。

## 今年の「ソバ播き」をしました

今年度の“さが未来スイッチ交付金事業”の耕作放棄地(荒廃田畑)対策としてのソバ蒔



きを8月30日に行いました。部会員約

20名の方々が手播き・機械播きをして

くれました。面積は約1町1反です。最

近、ソバ粉の注文が増えていますので、

11月下旬の収穫は豊作を願っています。



あなたも、一緒に活動してみませんか。

### ◎お知らせコーナー

◎ 地域連携教育活動において、塩田小学校で、児童達への指導、補助をして頂く方を捜しています。

内容は、ミシン取扱です。9月22/29/10月6日 何れも10時40分からです。是非、ご協力ください。他にも、児童達との交流は数多くあります。